

「『みどりのきずな』再生プロジェクト」について

○「『みどりのきずな』再生プロジェクト」は、東日本大震災で大きな被害を受けた青森県から千葉県までの海岸線において、ガレキを再生・利用しつつ、地域に安全と安心を与える海岸防災林を復旧・再生する取組です。

（被災地と支援する方々の間、被災地の人々の間、大震災を経験した今の世代と未来の世代、さらには人間と自然との間などを
つなぐ様々な絆を、今回の海岸防災林の再生を通じ形にしていくという願いが込められています。）

○東北森林管理局では本プロジェクトに基づき、平成24年から東日本大震災で被害を受けた海岸防災林の復旧・再生に取り組んでいます。

○まず、分別、無害化され安全性が確認された災害廃棄物由来の再生資材も活用しながら樹木の生育基盤を造成。

○その造成が完了した箇所から、地域の自然条件等を踏まえつつ、植栽や保育活動を希望するNPO、企業等とも連携しながら植栽等を進めています。

■取組概要

ガレキを再生・利用し、地域に安全と安心を与える海岸防災林を復旧・再生

・対象は、東日本大震災で被害を受けた海岸防災林

・地元住民・NPOや企業とも連携しながら植林活動を展開